

議会報告会報告書

平成27年 1月15日

小田原市議会議長
井原義雄様

報告者 議会広報広聴常任副委員長
安藤孝雄

議会報告会の結果について、次のとおり報告いたします。

日時	平成26年11月16日(日曜日)午後1時00分 ~ 午後2時30分			
場所	生涯学習センターけやき 大会議室			
出席者	井原義雄	横田八郎	安藤孝雄	鈴木紀雄
	植田理都子	鈴木敦子	今村洋一	小澤峯雄
	神永四郎	井上昌彦	田中利恵子	奥山孝二郎
	小松久信	加藤仁司	俵鋼太郎	
参加人数	26名			
報告内容	市議会に関するアンケートについて			
主な質疑・意見等	別紙のとおり			
その他	議会運営及び市政全般に関する意見交換			

< 主な質疑等について >

質疑

・資料として配布されたものが、なぜカラーではなくモノクロ印刷なのか。せっかくの報告会なので、わかりやすくする工夫をするべきだ。

答弁

・限られた予算の中で作成しているので、モノクロ印刷の資料になった。

質疑

・アンケートの対象者は3,000人だが、アンケートとして成立するのか。調査母数と、地域性などの関係はどうなっているのか。無作為抽出といえるのか。

答弁

・マスコミの世論調査のように3,000件でも傾向はつかめる。前回と同様に地域別、年齢別の比例配分をしての無作為アンケートである。

質疑

・(地域別、年齢別に抽出してあることが)無作為ではないので、無作為ではない旨説明すべきだ。まとめ方として結果と、分母、分子の割合などを分析すべきだ。

答弁

・前回と同様の方法なので、無作為という認識であったが、「無作為抽出」の本来の意味について研究させていただきたい。

質疑

・問1のグラフの中で、年代別表示を80代以上とすべきである。

答弁

・そのとおりである。

意見

・議会には政策提言を求めている。議会活動費や委員会視察の目的、結果の考察などが不明である。注釈や用語説明などしてもらわないと、市民がついていけない。

答弁

・委員会視察の結果などは、報告書が作成され、報告されている。

意見

・意見要望、陳情、請願など、文章化が難しい。簡便にしてほしい。高齢者などへの通知がわかりづらい。

意見

・議会基本条例の第14条に委任条項があるが、具体的な内容が不明。分権推進はいつやるのか、進捗状況は。会派の中で意見がばらばらのことがある。考え方の調整はされているのか。

答弁

・「委任」については見直しも含めて検討中である。会派での締め付けなどはできない。同じような政治的判断のもと会派は構成されているが、最終的には議員個人の考え方による。

意見

・会派を無くせないのか。

答弁

・議会運営上必要と考えている。意見として伺っておく。

意見

・議会活動の周知方法について、市民に関心をもたれるような工夫がほしい。

答弁

・議会広報広聴常任委員会では常に検討している。もう少し時間をいただきたい。

意見

・政務活動費に関して、外部監査を実施しないのか。市民が監査請求しないといけないのか。

答弁

・第3者による外部監査すべきかどうか検討し、今後あるべき姿を明示したい。

意見

・下水道の値上げに関して、どんな議論があったのか、なぜ可決したのか。高い利率の借金の返済に多額の費用をかけている。市民から借金するという方法もあるだろう。

答弁

・議会としても、平成21年度の時の下水道料金改定の時には、議案の取り下げに至った経緯がある。下水道審議会委員への推薦も議員はなくした。

意見

・報告会は、ツデーマーチと重なっている。日程をよく検討してほしい。ケーブルテレビの中継などの導入も検討してほしい。

意見

・前回も要望したのに、今回の報告会もこの有様。市民の興味のあるテーマで、大勢の市民参加があるようにしてほしい。